

別紙

I．事業評価総括表（令和３年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	林道向名線落石対策工事	出雲市	3, 006, 300	3, 006, 300	総事業費 3, 576, 100

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和３年度）

番号	措置名	交付金事業の名称																																	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	林道向名線落石対策工事																																	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		出雲市																																	
交付金事業実施場所		出雲市乙立町																																	
交付金事業の概要		林道向名線は、一級河川神戸川左岸の殿川内集落と右岸の向名集落を繋ぐ、総延長2,340mの林道です。集落間を連結する主要な生活道として昭和35年に開設され、現在では林業施業する人や通勤通学等地域にとって大切な路線となっています。																																	
		林道開設時においては、段丘崖を切削することにより道路を整備し、転石などは見受けられませんでした。その後の降雨等により段丘崖の風化が進み、現在、林道斜面に比較的大きな転石・浮石群が存在するとともに、ここ数年毎年数回、こぶし大の落石が発生しており、けが人は出でいませんが、交通に支障を及ぼしている状況です。																																	
		落石は、神戸川左岸（A工区）80m及び右岸(B工区)440mにおいて発生しており、この内落石発生頻度の高いA工区内の37m及びB工区内の51mについて、年次的に落石対策を実施しています。																																	
		平成28年度から平成29年度において、特に落石が多発しているA工区A箇所L=25.6mの対策を行い、令和2年度は、落石頻度が高く地元要望が強いB工区47mの落石防護網工を整備しています。本年度は、対策が完了していないA工区L=11.75mの覆式落石防護網工及びB工区L=4mのロープ伏工を整備します。																																	
		【林道向名線A工区】工事延長L=11.75m、覆式落石防護網工A=114㎡ 【林道向名線B工区】工事延長L=4m、ロープ伏工A=24㎡																																	
		《全体計画》																																	
		<table><tr><th colspan="2">工区・箇所</th><th>延長</th><th>工事内容</th><th>施工年度</th></tr><tr><td>A工区</td><td>A箇所</td><td>L=25.6m</td><td>現場吹付法枠工 A=154.9㎡</td><td>H28-29</td></tr><tr><td></td><td>B箇所</td><td>L=11.75m</td><td>覆式落石防護網工 A=114.3㎡</td><td>R3（本年度）</td></tr><tr><td>B工区</td><td></td><td>L=47.0m</td><td>ポケット式落石防護網工 A=387.6㎡</td><td>R2</td></tr><tr><td></td><td></td><td>L=4.0m</td><td>ロープ伏工 A=24.2㎡</td><td>R3（本年度）</td></tr><tr><td colspan="2">全体計画</td><td>L=88.4m</td><td></td><td></td></tr></table>				工区・箇所		延長	工事内容	施工年度	A工区	A箇所	L=25.6m	現場吹付法枠工 A=154.9㎡	H28-29		B箇所	L=11.75m	覆式落石防護網工 A=114.3㎡	R3（本年度）	B工区		L=47.0m	ポケット式落石防護網工 A=387.6㎡	R2			L=4.0m	ロープ伏工 A=24.2㎡	R3（本年度）	全体計画		L=88.4m		
工区・箇所		延長	工事内容	施工年度																															
A工区	A箇所	L=25.6m	現場吹付法枠工 A=154.9㎡	H28-29																															
	B箇所	L=11.75m	覆式落石防護網工 A=114.3㎡	R3（本年度）																															
B工区		L=47.0m	ポケット式落石防護網工 A=387.6㎡	R2																															
		L=4.0m	ロープ伏工 A=24.2㎡	R3（本年度）																															
全体計画		L=88.4m																																	

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	出雲市総合整備計画「出雲未来図」（平成24年度～平成33年度） 後期基本計画（平成29年度～平成33年度） 第3章 産業・観光都市の創造 2 農林水産業の振興と発展 （4）農業基盤整備事業 ⑤林道整備事業 林道の機能向上及び農山村地域の環境改善等を図るため、県営事業を活用し林道の開設並びに整備を行います。					
事業開始年度	令和3年度		事業終了（予定）年度		令和3年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和3年度	
	林道向名線の落石対策が必要なA工区及びB工区における落石対策済延長の割合（%） 100%	（A工区及びB工区落石対策済延長（m）／（落石対策が必要なA工区及びB工区の全延長（m））×100（%）	成果実績	%	100	
			目標値	%	100	
			達成度	%	100	
	評価年度の設定理由					
	林道向名線における落石対策箇所A工区（L=11.75m）・B工区(L=4.0m)の対策完了期間					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和2年度	令和3年度 年度
	林道向名線落石対策工事進捗量	活動実績	m	47	15.75	
		活動見込	m	47	15.75	
		達成度	%	100	100	

交付金事業の総事業費等		令和 2 年度	令和 3 年度	年度	備 考
総事業費		8, 593, 200	3, 576, 100		
交付金充当額		6, 055, 000	3, 006, 300		
うち文部科学省分					
うち経済産業省分		6, 055, 000	3, 006, 300		
交付金事業の契約の概要					
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額	
落石対策工事		指名競争入札	有限会社門脇組（出雲市）	3, 576, 100	
計				3, 576, 100	
交付金事業の担当課室		出雲市農林水産部農林基盤課			
交付金事業の評価課室		出雲市農林水産部農林基盤課			

別紙

I．事業評価総括表（令和３年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	乙立町地内農道舗装改修工 事	出雲市	1,445,700	1,445,700	総事業費 1,592,800

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和３年度）

番号	措置名	交付金事業の名称												
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	乙立町地内農道舗装改修工事												
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		出雲市												
交付金事業実施場所	出雲市乙立町													
交付金事業の概要	本農道は、一級河川斐伊川水系神戸川の南側にある幅員2.5m、延長136mの農道です。平成6年度から平成7年度にかけて、乙立地区農用地有効利用モデル集落整備小規模基盤整備事業により整備された農道であり、市道乙立８号線と市道乙立10号線を結び国道184号と立体交差しており、交通量のある国道184号を渡ることなく、集落間を結ぶことができます。 現在、この農道は未舗装であり、雨季には道がぬかるみ、部分的に車両の通行や人の歩行が困難になります。また、周辺集落の高齢化により、転倒する恐れが高まっている状況です。このため、地元からの要望がある舗装改修を行うことにより、地域住民の交通の安全確保及び利便性向上を図ります。 令和３年度から令和４年度において舗装改修を行い、令和３年度は工事延長L=80mの舗装改修工を実施します。 《全体計画》 <table><tr><th>施工年度</th><th>工事内容</th><th>延長</th></tr><tr><td>R3（本年度）</td><td>舗装改修工</td><td>L=80.0m</td></tr><tr><td>R4</td><td>舗装改修工</td><td>L=55.6m</td></tr><tr><td></td><td></td><td>L=135.6m</td></tr></table>		施工年度	工事内容	延長	R3（本年度）	舗装改修工	L=80.0m	R4	舗装改修工	L=55.6m			L=135.6m
施工年度	工事内容	延長												
R3（本年度）	舗装改修工	L=80.0m												
R4	舗装改修工	L=55.6m												
		L=135.6m												

交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	出雲市総合計画「出雲未来図」（平成24年度～平成33年度）後期基本計画（平成29年度～平成33年度） 第3章 産業・観光都市の創造 2 農林水産業の振興と発展 (4) 農業基盤整備事業 ④農道整備事業 農業の振興、農村地域の環境改善等を図るため、集落を結ぶ基幹道路として県営事業を活用し農道整備を行います。					
事業開始年度	令和3年度		事業終了（予定）年度		令和4年度	
事業期間の設定理由	乙立町地内農道における舗装対策が必要な箇所（L=135.6m）の完了期間					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度	
	対策が必要な範囲における対策済延長の割合（%）	対策済み延長（m）／対策が必要な全延長（m）×100（%）	成果実績	%		
			目標値	%	100	
			達成度	%		
	評価年度の設定理由					
	当該事業が完了するのが、令和4年度であるため。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度	令和4年度 令和5年度
	乙立町地内農道舗装改修工事進捗量		活動実績	m	80	
			活動見込	m	80	
			達成度	%	100	

交付金事業の総事業費等	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	備 考
総事業費	1, 592, 800			R 3 ～ R 4 年度総事業費 2, 700, 000円
交付金充当額	1, 445, 700			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	1, 445, 700			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
舗装改修工事	指名競争入札	山口建設株式会社（出雲市）	1, 592, 800	
計			1, 592, 800	
交付金事業の担当課室	出雲市農林水産部農林基盤課			
交付金事業の評価課室	出雲市農林水産部農林基盤課			

別紙

I．事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	市道横田住宅団地1号線道路 改良事業	益田市	5,442,000	5,442,000	総事業費 5,582,500

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表(令和3年度)

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道横田住宅団地1号線道路改良事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		益田市
交付金事業実施場所		益田市横田町
交付金事業の概要		本事業は市道横田住宅団地1号線のうち、起点側の120mの区間の道路改良を行う事業です。本年度は一部区間の道路改良工事を行います。 益田市の管理する市道横田住宅団地1号線は、総延長320m、道路幅員2.8～4.3mの歩道の無い車道のみ幅員狭小道路です。「横田住宅団地」と呼ばれる40棟近くの家屋が密集する団地内の基幹道路です。このうち特に、市道の起点側120mの区間は団地内への出入りのための唯一のルートとなっています。一方で、起点側120mの区間は幅員が4mに満たず最小幅員3.6mと狭小で、車両同士の円滑な離合が困難な状況となっており、接触事故等、兼ねてから安全性に懸念があります。 一般的には道路を拡幅改良することで離合の困難は解消されますが、起点部に防火用貯水池があるうえ、拡幅工事を行った場合、工事期間中の迂回ルートが無く、団地内への車両の進入が困難となる等の課題がありました。 このほど、当該市道沿線の市営住宅が老朽化のため他地区へ移転となり、また、市営住宅と市道用地との間の民有地の買収も令和元年度に行ったことから、当該区間の改良については、現道を維持しながら並行するバイパス的な道路改良整備が可能となりました。このため、本交付金を活用することにより、当該区間について、幅員5.0mのバイパス的な道路を改良整備し、団地内を出入りする車両同士の安全な離合を可能とし、日常生活の利便性向上を図ろうとするものであります。 平成30年度より本交付金事業を財源の一部として活用して、道路整備のための調査設計として、当該整備予定区間120mの測量を行い、ルート決定、並びに道路設計のための平面図作成、路線測量(中心線測量、縦断測量、横断測量等)を行い、(ルート決定、路線測量、道路設計については市単独事業で実施)用地測量を行い用地取得を行いました。 令和2年度より道路改良工事に着手しており、今年度も引き続いて事業を行うものです。 (令和3年度の実施内容) 施工延長 L=45m・法面工 植生工 A=90㎡・排水構造物工 排水工L=40m 側溝工 L=28m 管渠工L=3m 集水柵工 N=1箇所 次年度も引き続き工事着手を行い、令和4年度の供用開始を目標として事業を進めていく予定です。

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第6次益田市総合振興計画後期基本計画(令和3年度(2021年)3月) 基本目標Ⅳ:ひと・もの・情報をつなぐネットワークが整備されたまち 基本施策1:市内外のアクセスを確保する道路網整備 ⑤:市道(街路)・農道・林道の整備 地域の生活道路は、既存の道路の維持・管理に努めるとともに、必要に応じ新設・改良を進め、日常生活の利便性の向上を図ります。 目標指標:市道改良延長 現状値(令和元年度):511km 目標値(令和7年度):514km						
事業開始年度	平成30年度			事業終了(予定)年度		令和4年度	
事業期間の設定理由	平成30年度に測量、設計、令和元年度に、用地測量、用地取得、令和2年度に工事着手を行い、令和4年度の供用開始を見込むため。						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度		
	市道のうち幅員が狭く 離合が困難な箇所の 解消。	整備が完了した区 間÷整備予定区間	成果実績	%			
			目標値	%	100		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	市道横田住宅団地1号線道路改良工事が完了し供用が開始されるのが令和4年度であるため。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	令和2年度	令和3年度	年度
	側溝の整備延長		活動実績	m	25	28	
			活動見込	m	25	28	
			達成度	%	100.0	100.0	

交付金事業の総事業費等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
	総事業費	3,495,499	7,173,100	5,582,500	総事業費23,000,000円(予定)
	交付金充当額	3,495,499	6,342,000	5,442,000	
	うち文部科学省分				
	うち経済産業省分	3,495,499	6,342,000	5,442,000	
交付金事業の契約の概要					
	契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額
	工事実施		指名競争入札	有限会社 吉村工務店(益田市)	5,582,500
	計				5,582,500
交付金事業の担当課室		益田市建設部土木課			
交付金事業の評価課室		益田市建設部土木課			

別紙

I．事業評価総括表（令和３年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	布部おどころ水路改修工事	安来市	4, 403, 300	4, 403, 300	総事業費 4, 403, 300

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和３年度）

番号	措置名	交付金事業の名称											
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	布部おどころ水路改修工事											
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		安来市											
交付金事業実施場所		安来市広瀬町布部											
交付金事業の概要		市の中央部に位置する、広瀬町布部の横手地区は、中山間地で水稻を中心とする農耕地域であり、おどころ水路は、この地区への基幹水路として機能しており、農地の用水取得等に重要な施設です。これまで、この水路の維持管理については、地元住民が行ってきましたが、落ち葉、枯れ木等の堆積がひどいうえに、急斜面にある施設であり、受益者の高齢化も顕著で管理が難しい状況にあります。それにより令和2年度、令和3年度の2年度にかけて改修を行います。なお、現状の課題と地元全体の要望を取りまとめたうえで、施設の改善方法を受益者と一緒に検討し、この度の改修を行うことで、安定的に水が供給されることにより、効果的に営農活動の活性化を図っていきます。 中山間地域においては、農家の高齢化・担い手不足が深刻となっています。今回の工事により、水利環境をはじめとする耕作地の環境改善を図ることにより、耕作放棄地の減少、多様な担い手の育成・確保（農業後継者、新規就農者、企業参入等）を推進していきます。 当初は、A工区において令和3年度に上流側水路と下流側水路を市道川奥1号線の法面に管渠（ポリエチレン管Φ400）を敷設し結ぶ工事を計画していましたが、令和2年度の測量設計を踏まえ、道路管理者と協議した結果、管渠の約半分が露出した状態では法面の十分な転圧ができず、降雨等で法面が崩れた場合には舗装部分が崩落してしまうこと、崩落土が飯梨川（県管理河川）へ流れ込むおそれがあること、また、川奥1号線は飯梨川第三発電所施設（県企業局東部事務所管理）へ続く唯一の路線であることから有事の際には早急な市道の復旧と埋設物の改善命令が求められること等の懸案事項が明らかになったため計画の見直しを図ることとしました。受益者との協議の結果、A工区については管渠の埋設をやめ、既設の水路への蓋かけ、清掃工、集水桝の改修に計画を変更し、B工区については当初の計画通り施工することとしました。 改修予定区間 L=436.5m（集水桝の延長分を除く）のうち令和2年度改修部分 L=210.0mを除く226.5m（集水桝の延長分を除く）をA、Bの2工区に分け施工します。 <table><tr><td>・A工区：L=194.4m</td><td>側溝工（蓋かけ）L=194.4m</td><td>清掃工L=195.2m</td><td>集水桝改修1基</td></tr><tr><td>・B工区：L=32.1m</td><td>ポリエチレン管埋設L=32.1m</td><td>集水桝新設2基</td><td>集水桝改修1基</td></tr></table>				・A工区：L=194.4m	側溝工（蓋かけ）L=194.4m	清掃工L=195.2m	集水桝改修1基	・B工区：L=32.1m	ポリエチレン管埋設L=32.1m	集水桝新設2基	集水桝改修1基
・A工区：L=194.4m	側溝工（蓋かけ）L=194.4m	清掃工L=195.2m	集水桝改修1基										
・B工区：L=32.1m	ポリエチレン管埋設L=32.1m	集水桝新設2基	集水桝改修1基										

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	【交付金事業に関する主要政策・施策】 第2次安来市総合計画（平成28年～令和7年） 基本理念 活力・快適・らしさ・つながり・安心 基本政策 みんなで支えあうまちづくり／第4章 産業・観光・雇用／第1節 農林水産業の振興／ 方向 営農の組織化・農地の利用集積と担い手の育成・確保を推進する				
事業開始年度	令和3年度		事業終了（予定）年度		令和3年度
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和3年度
	おどころ水路 における改修 工事により安全に管理できる水路の延長の割合 （100%）	おどころ水路 における改修 工事により安全に管理できる延長／水路の総延長	成果実績	%	100
			目標値	%	100
			達成度	%	100.0
	評価年度の設定理由				
	事業完了後、速やかに評価を実施するため。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	—				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和 2 年度	令和 3 年度	年度
	おどころ水路の改修延長		活動実績	m	210	226.5	
			活動見込	m	210	226.5	
			達成度	%	100.0	100.0	
交付金事業の総事業費等	令和 2 年度		令和 3 年度		年度		備 考
総事業費	2,536,600		4,403,300				
交付金充当額	2,536,600		4,403,300				
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	2,536,600		4,403,300				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
水路改修工事		指名競争入札		株式会社コンドウ（安来市）		4,403,300	
計						4,403,300	
交付金事業の担当課室		安来市役所 広瀬地域センター					
交付金事業の評価課室		安来市役所 広瀬地域センター					

別紙

I．事業評価総括表（令和３年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	中学校運営事業	江津市	4,448,000	4,448,000	総事業費 6,216,110

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和３年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	中学校運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		江津市
交付金事業実施場所	・江津中学校（江津市江津町） ・江東中学校（江津市後地町） ・青陵中学校（江津市二宮町神主） ・桜江中学校（江津市桜江町川戸）	
交付金事業の概要	江津市教育大綱において、江津市は基本目標で「社会を生き抜く力を高める人づくり」と定めており、その基本方針で「確かな学力の育成」と定めています。 GIGAスクール構想に必要な機器整備や、教員の負担を軽減するための人の配置など、学校環境を維持運営するための経費は増加傾向となっています。また、江津市では、近年の夏の猛暑のため各学校の教室にエアコンの整備を行いました。快適な学習環境を維持するための費用が増加しています。本交付金を中学校の電気代へ充当することによって、継続的に快適な学習環境を構築し、公共用の施設の維持運営を図ります。 市内中学校4校の電気代、6か月分	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第6次江津市総合振興計画（令和2年度（2020年度）～令和11年度（2029年度）） 基本方針5 豊かな心を育む芸術・文化・教育・スポーツのまちづくり 施策2 豊かな創造性を育む人づくり （2）学校教育の充実 具体的な取り組み ③ 信頼される学校づくりの推進 ●学習の基盤となる学習環境の整備	

事業開始年度	令和３年度		事業終了（予定）年度		令和３年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和３年度	
	事業実施期間 における中学校 開校日のうち、快適な学 習環境を提供 できた日数の 割合（100％）	快適な学習環 境を提供でき た日数／開校 日数	成果実績	%	100.0	
			目標値	%	100.0	
			達成度	%	100.0	
	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度に評価を実施します。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和３年度	
	事業実施期間における中学校 開校日のうち、快適な学習環 境を提供できた日数		活動実績	日	95	
			活動見込	日	95	
			達成度	%	100.0	

交付金事業の総事業費等	令和3年度	年度	年度	備 考
総事業費	6,216,110			
交付金充当額	4,448,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	4,448,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
中学校にかかる電気の使用	随意契約（特命）	中国電力（株）（広島市）	6,216,110	
計			6,216,110	
交付金事業の担当課室	江津市学校教育課			
交付金事業の評価課室	江津市学校教育課			

別紙

I．事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	自治会施設等整備補助金 (松笠地区防災備品収納庫 整備) 事業	雲南市	503,800	503,800	総事業費 503,800

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和３年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金(松笠地区防災備品収納庫整備) 事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所	雲南市掛合町松笠	
交付金事業の概要	地域自主組織の拠点施設であり災害時の指定避難所でもある、雲南市掛合町の松笠交流センターに地域自主組織所有の防災備品を整備することで、避難所設備の充実及び自主防災活動の強化を図り、地区内で発生した災害に地域と行政が協働で対応する事のできる体制を構築するとともに、災害に対する住民の自助の意識の醸成を図ってきました。 これまでに整備してきた防災備品は、現在、松笠交流センターの倉庫や押し入れに保管しています。今後、さらに防災備品の整備・拡充を検討していますが収納場所が不足しています。あらたに防災備品専用の保管倉庫を設置することによって、適切な管理と災害時の迅速な対応が可能となります。 このような地域自主組織での、より主体的な避難所運営や自主防災活動に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、補助金を交付します。 具体的な内容は以下のとおりです。 ○松笠地区防災備品収納庫整備事業 ・大型物置 1基 ・棚板 4枚×2段	

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】 政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち 施策16 消防・防災対策の推進 防災意識の向上と実践、防災施設の整備 施策目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 現状 28.7%（令和元年度実績） 目標 34.0%（令和3年度）				
事業開始年度	令和3年度		事業終了（予定）年度		令和3年度
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度
	災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 34.0%	市民アンケートにおいて「災害に対する家庭での備え」についての項目に、していると答えた数／市民アンケート回答者数	成果実績	%	
			目標値	%	34
			達成度	%	
	評価年度の設定理由				
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度		
	松笠地区（松笠交流センター）への防災備品整備数		活動実績	点	2		
			活動見込	点	2		
			達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等		令和3年度				備 考	
総事業費		503,800					
交付金充当額		503,800					
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		503,800					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
補助金交付		補助		松笠振興協議会（雲南市）		503,800	
		計				503,800	
交付金事業の担当課室		雲南市掛合総合センター自治振興課					
交付金事業の評価課室		雲南市掛合総合センター自治振興課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	自治会施設等整備補助金 （西日登交流センター防災 備品整備）事業	雲南市	1,000,000	1,000,000	総事業費 1,000,000

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（西日登交流センター防災備品整備）事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市	
交付金事業実施場所		雲南市木次町西日登	
交付金事業の概要		雲南市内には、地域自主組織が概ね小学校単位で30組織が設立されています。この地域自主組織とは、まちづくり活動の拠点として地域の課題解決に向けた活動団体であり、各地域で持続可能なまちづくり活動の推進が積極的に行われている組織です。 この雲南市木次町西日登地区の拠点施設であり、災害時の指定避難所でもある西日登交流センターに地域自主組織所有の防災備品を整備することで、避難所設備の充実及び自主防災活動の強化を図り、地区内で発生した災害に地域と行政が協働で対応する事のできる体制を構築するとともに、災害に対する地区住民の自助の意識の醸成を図ります。 また、これまでに全国各地で発生した集中豪雨等の実態を踏まえ避難所での生活を送る事態を想定し、避難所生活において避難者が怪我をしないような安全対策や整備した防災備品を用いた自主防災訓練を行うことができるようになり「避難所生活での安全確保や住民の更なる防災意識の高揚」を目指します。 このような地域自主組織での主体的な避難所運営、自主防災活動などの地域に即した防災備品の整備に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、補助金を交付します。 西日登交流センターに整備する防災備品の具体的な内容は以下のとおりです。 ・防災用LED作業灯セット 3台 ・発電機（ガソリン式）EU9i 1台 ・発電機（ガソリン式）EU26i 1台 ・コードリール（屋外型） 3台 ・ワンタッチテント 1台 ・加重プレート 4個 ・クイックシェード（テント） 1張	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】 政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち 施策16 消防・防災対策の推進 防災意識の向上と実践、防災施設の整備 施策目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 現状 28.7%（令和元年度実績） 目標 34.0%（令和3年度）	
事業開始年度		令和3年度	事業終了（予定）年度
事業期間の設定理由			

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和4年度
	災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 34.0%	市民アンケートにおいて「災害に対する家庭内での備え」についての項目に、していると答えた数／市民アンケート回答者数	成果実績	%				
			目標値	%	34			
			達成度	%				
	評価年度の設定理由							
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度			
	西日登地区地域自主組織への防災備品整備数		活動実績	点	14			
			活動見込	点	14			
			達成度	%	100			
交付金事業の総事業費等	令和3年度						備 考	
総事業費	1,000,000							
交付金充当額	1,000,000							
うち文部科学省分								
うち経済産業省分	1,000,000							
交付金事業の契約の概要								
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額		
補助金交付		補助		西日登振興会（雲南市）		1,000,000		
		計						
交付金事業の担当課室		雲南市木次総合センター自治振興課						
交付金事業の評価課室		雲南市木次総合センター自治振興課						

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	自治会施設等整備補助金 （温泉交流センター防災備 品整備）事業	雲南市	980,672	980,672	総事業費 980,672

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和３年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（温泉交流センター防災備品整備）事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所	雲南市木次町平田	
交付金事業の概要	雲南市内には、地域自主組織が概ね小学校区単位で30組織が設立されています。この地域自主組織とは、まちづくり活動の拠点として地域の課題解決に向けた活動団体であり、各地域で持続可能なまちづくり活動の推進が積極的に行われている組織です。 この雲南市木次町温泉地区の拠点施設であり災害時の指定避難所でもある、温泉交流センターに地域自主組織所有の防災備品を整備することで、避難所設備の充実及び自主防災活動の強化を図り、地区内で発生した災害に地域と行政が協働で対応する事のできる体制を構築するとともに、災害に対する地区住民の自助の意識の醸成を図ります。 また、これまでに全国各地で発生した集中豪雨等の実態を踏まえ避難所での生活を送る事態を想定し、避難所生活において避難者が怪我をしないような安全対策や整備した防災備品を用いた自主防災訓練を行うことができるようになり「避難所生活での安全確保や住民の更なる防災意識の高揚」を目指します。 このような地域自主組織での主体的な避難所運営、自主防災活動などの地域に即した防災備品の整備に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、補助金を交付します。 温泉交流センターに整備する防災備品の具体的な内容は以下のとおりです。 ・ LEDバルーン1台 ・ 防災用LED作業灯セット1台 ・ 発電機2台（ガソリン式） ・ 発電機用並列運転コード1個 ・ コードリール2台 ・ ガソリン携行缶（10ℓ）1個 ・ ガソリン携行缶（20ℓ）1個 ・ 災害備蓄マット8枚	

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】 政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち 施策16 消防・防災対策の推進 防災意識の向上と実践、防災施設の整備 施策目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 現状 28.7%（令和元年度実績） 目標 34.0%（令和3年度）				
事業開始年度	令和3年度		事業終了（予定）年度		令和3年度
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度
	災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 34.0%	市民アンケートにおいて「災害に対する家庭での備え」についての項目に、していると答えた数／市民アンケート回答者数	成果実績	%	
			目標値	%	34
			達成度	%	
	評価年度の設定理由				
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度		
	温泉地区地域自主組織への防災備品整備数		活動実績	点	17		
			活動見込	点	17		
			達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	令和3年度					備 考	
総事業費	980,672						
交付金充当額	980,672						
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	980,672						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
補助金交付		補助		温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」(雲南市)		980,672	
		計				980,672	
交付金事業の担当課室		雲南市木次総合センター自治振興課					
交付金事業の評価課室		雲南市木次総合センター自治振興課					

別紙

I．事業評価総括表（令和３年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金 （吉田町交流センター（吉田・田井・民谷）防災備品整備）事業	雲南市	1,947,000	1,947,000	総事業費 1,947,000

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（吉田町交流センター（吉田・田井・民谷）防災備品整備）事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所	雲南市吉田町吉田ほか2件	
交付金事業の概要	地域自主組織の拠点施設であり災害時の指定避難所でもある、雲南市吉田町内の交流センターに地域自主組織所有の防災備品を整備することで、避難所設備の充実及び自主防災活動の強化を図り、地区内で発生した災害に地域と行政が協働で対応する事のできる体制を構築するとともに、災害に対する町内住民の自助の意識の醸成を図ります。 雲南市吉田町内の各交流センターの防災備品は、平成29年度から本交付金を活用し、計画的に整備することとしており、最終的には、地区単位で、行政及び地域所有の防災備品や災害用備蓄品、並びに個人の持ち出し備蓄品を合わせて、1週間程度自活できる体制を目指します。 今年度も地震等大規模な災害の発生により、長期間に渡り避難所で生活を送る事態を想定し、交流センター以外の地区内の避難所（体育館等）も含めた避難所運営に必要な備品を各地域の状況に即して、またこれまで整備した備品を利用した訓練の実態を踏まえて追加整備します。 このような各地域自主組織でのより主体的な避難所運営、自主防災活動に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより補助金を交付します。 各交流センターに整備する備品の具体的な内容は以下のとおりです。 <u>1）吉田交流センター（吉田地区振興協議会）</u> ・誘導用ベスト 30枚 ・合図灯 10本 ・防災用ハロゲンライトセット 2台 ・防災イベントストーブ 1台 <u>合計 43点</u>	

	2) 田井交流センター（田井地区振興協議会） ・ワンタッチテント 2張 ・クイックパーテーション 4台 ・屋外用コードリール 1台 ・軽量樹脂製運搬車 2台 ・38cm大型扇風機 2台 ・防災用ヘルメット 5個 ・インバート発電機（ガソリン式）2台 ・45cm三脚収納工場扇1台 合計 19点 3) 民谷交流センター（民谷地区振興協議会） ・防災非常用蓄電池1台 合計 1点		
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	令和3年度目標【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】 政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち 施策16 消防・防災対策の推進 防災意識の向上と実践、防災施設の整備 施策目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 現状 28.7%（令和元年度実績） 目標 34.0%（令和3年度）		
事業開始年度	令和3年度	事業終了（予定）年度	令和3年度
事業期間の設定理由			

交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和 4 年度		
	災害に対する 家庭内での備 えをしている 市民の割合 34.0%	市民アンケート において 「災害に対す る家庭内での 備え」につい ての項目に、 していると答 えた数／市民 アンケート回 答者数	成果実績	%			
			目標値	%	34		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	吉田町地域自主組織への防災 備品整備数		活動実績	点	96	146	209
			活動見込	点	96	146	209
			達成度	%	100	100	100

交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和２年度	令和３年度	備 考
総事業費	2, 926, 281	2, 977, 590	1, 947, 000	
交付金充当額	2, 926, 281	2, 977, 590	1, 947, 000	
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	2, 926, 281	2, 977, 590	1, 947, 000	
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
補助金交付	補助	吉田地区振興協議会（雲南市）	584, 540	
補助金交付	補助	田井地区振興協議会（雲南市）	590, 260	
補助金交付	補助	民谷地区振興協議会（雲南市）	772, 200	
計			1, 947, 000	
交付金事業の担当課室	雲南市吉田総合センター自治振興課			
交付金事業の評価課室	雲南市吉田総合センター自治振興課			

別紙

I．事業評価総括表（令和３年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金 （志食自治会防火水槽補水 用水道管延伸整備）事業	雲南市	539,000	539,000	総事業費 539,000

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金（志食自治会防火水槽補水用水道管延伸整備）事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市		
交付金事業実施場所		雲南市掛合町多根		
交付金事業の概要		志食自治会は、山あいに各戸が散在し、自治会内でも各戸標高差があります。自治会内でも標高の高い地域は水量が乏しく、水利条件が悪い地域となっています。現在防火水槽への補水は湧き水により行っており、この補水用の管は経年劣化による破損及び水路閉塞等により、地域住民による水位管理及び防火水槽の維持管理が困難となっています。 以上のことから、交付金を活用し、防火水槽への確実な補水を行えるよう水道管を延伸することで、防火用水の機能維持を確保し、防火水槽の維持管理を適切に行い、火災時の初期消火に備え、地元消防団の効率的な活動と環境整備をすすめ、安心・安全な防災体制の強化を図るものです。 については、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、補助金を志食自治会に交付します。具体的な事業内容は、防火用水付近の水道管を延伸（φ20mm L＝9.1m）します。		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		令和3年度目標【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】 政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち《定住環境》 施策16 消防・防災対策の推進 防災意識の向上と実践、防災施設の整備 施策目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 現状 28.7%（令和元年度実績） 目標 34.0%（令和3年度）		
事業開始年度		令和3年度	事業終了（予定）年度	令和3年度
事業期間の設定理由				

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度		令和4年度
	災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 34.0%	市民アンケートにおいて「災害に対する家庭内での備え」についての項目に、していると答えた数／市民アンケート回答者数	成果実績	%			
			目標値	%	34		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度		
	防火水槽補水管整備箇所数		活動実績	箇所	1		
			活動見込	箇所	1		
			達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	令和3年度				備 考		
総事業費	539,000						
交付金充当額	539,000						
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	539,000						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
補助金交付		補助		志食自治会（雲南市）		539,000	
		計				539,000	
交付金事業の担当課室		雲南市掛合総合センター自治振興課					
交付金事業の評価課室		雲南市掛合総合センター自治振興課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	三刀屋交流センター横公園 遊具整備工事	雲南市	869,000	869,000	総事業費 869,000円

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和３年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	三刀屋交流センター横公園遊具整備工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市		
交付金事業実施場所		雲南市三刀屋町三刀屋		
交付金事業の概要		三刀屋交流センター横公園は、三刀屋交流センター建設に伴い整備された施設です。この公園は利便がよく、午前中はほぼ毎日就学前の子ども連れや、三刀屋保育所の子ども達が訪れ、年間を通じ小学生や、中学生の利用も多く、地域住民の憩いの公園として中心的な役割を果たしています。 公園の利用者からの要望が多くあり、今回整備予定の遊具は、子どもが座って遊べるものと立って遊べるもので、対象年齢に応じたタイプの異なる２種類です。 経年劣化した既存の遊具を別事業で撤去を行い、設置する遊具を子ども達が安全に利用できる空間を確保したうえで、新規の遊具設置を行います。 三刀屋交流センター横の公園に整備する具体的な内容は以下のとおりです。 ・スプリング遊具設置２基 （ニョッキー１基、ハニー１基）		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第2次雲南市総合計画（後期基本計画 平成27年度～令和６年度） 政策：Ⅱ安全・安心で快適なまち《定住環境》 施策：09都市・住まいづくりと土地利用の推進 方針：居住環境の整備促進 ・都市公園、農村公園等を計画的に整備し、適正に管理します。		
事業開始年度		令和3年度	事業終了（予定）年度	令和3年度
事業期間の設定理由				

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度		
	住んでいる地域が 便利で住みよいと 感じる市民の割合	市民アンケートに おいて「住んでい る地域が便利で住 みよいと感じる市 民の割合（三刀屋 地域）」について の項目に、感じ る、やや感じると 答えた数／市民ア ンケート回答者数	成果実績	%			
			目標値	%	70		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度		
	三刀屋交流センター横公園遊具の整備数		活動実績	基	2		
			活動見込	基	2		
			達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	令和3年度					備 考	
総事業費	869,000						
交付金充当額	869,000						
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	869,000						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
公園遊具の設置工事		指名競争入札		梅木建設（株）（雲南市）		869,000	
		計					
交付金事業の担当課室		雲南市三刀屋総合センター自治振興課					
交付金事業の評価課室		雲南市三刀屋総合センター自治振興課					

別紙

I．事業評価総括表（令和３年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	防災用音響備品整備事業	雲南市	544,500	544,500	総事業費 544,500円

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和３年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	防災用音響備品整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所	雲南市掛合町掛合	
交付金事業の概要	雲南市掛合町は山あい集落が散在し、その周りを急傾斜地（土砂災害警戒区域）に指定されている区域が多く、降水量や積雪量が多くなると土砂崩れ等の災害発生が心配されます。特に土砂崩れが発生すると、家屋の倒壊だけでなく生活道路が分断され、孤立してしまう世帯や集落が発生する可能性も大いにあります。そのような中で住民の防災への意識は高く、自主防災組織の結成や防災・想定訓練に積極的に取り組んでいます。 そこで交付金を活用し、災害対策の拠点となり現場の情報が集まる雲南市掛合総合センターに災害時の適切な情報提供を図るため、可搬式、電池・プラグ併用式の音響備品を購入します。更に、平常時において防災訓練に活用し、市民の防災意識の向上を図ります。 雲南市掛合総合センターに整備する防災備品の具体的な内容は以下のとおりです。 ・ポータブルワイヤレスアンプ 2台 ・ワイヤレスマイク 5本 ・ダイバーシティチューナーユニット 3台 ・ダイナミックマイク 1本	

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】 政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち《定住環境》 施策16 消防・防災対策の推進 防災意識の向上と実践、防災施設の整備 施策目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 現状 28.7%（令和元年度実績） 目標 34.0%（令和3年度）						
事業開始年度	令和3年度		事業終了（予定）年度		令和3年度		
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度		
	災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 34.0%	市民アンケートにおいて「災害に対する家庭内での備え」についての項目に、していると答えた数／市民アンケート回答者数	成果実績	%			
			目標値	%	34		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	掛合町掛合総合センターへの防災備品整備数		活動実績	点	255	4	11
			活動見込	点	255	4	11
			達成度	%	100	100	100

交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考
総事業費	3, 905, 000	1, 133, 000	544, 500	
交付金充当額	3, 905, 000	1, 133, 000	544, 500	
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	3, 905, 000	1, 133, 000	544, 500	
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
掛合総合センターへの防災用音響備品の整備	指名競争入札	土江文具店（雲南市）	544, 500	
計				
交付金事業の担当課室	雲南市掛合総合センター自治振興課			
交付金事業の評価課室	雲南市掛合総合センター自治振興課			

別紙

I．事業評価総括表（令和３年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金 （掛合町交流センター（掛合・多根・松笠・波多・入間）防災備品整備）事業	雲南市	1, 179, 860	1, 179, 860	総事業費 1, 179, 860

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（掛合町交流センター（掛合・多根・松笠・波多・入間）防災備品整備）事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所	雲南市掛合町掛合地内ほか4件	
交付金事業の概要	地域自主組織の拠点施設であり災害時の指定避難所でもある、雲南市掛合町の各交流センターは、これまで各地域自主組織で防災備品を整備することにより、災害時の住民避難に対して備えてきました。しかし、コロナ禍において、避難所における感染防止対策も併せて必要になりました。そのような中で、令和3年7月から8月の大雨災害により、掛合町内すべての交流センターで避難者を受け入れましたが、新型コロナウイルス感染症対策備品が未整備で、一部備品整備をしている交流センターにおいても、備品が不足しており、感染対策が不十分でした。 更には、インフラの停止や孤立化した交流センターもあり、その対策など多くの課題が残りました。このたびの災害での課題の解決として、各交流センターにベッド類や間仕切り等の新型コロナウイルス感染症対策等の備品を整備するとともに、避難所の設置訓練など地域の防災活動にも活かしていきます。このような各地域自主組織でのより主体的な避難所運営、自主防災活動に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより補助金を交付します。 具体的な内容は以下のとおりです。 ○自治会施設等整備補助金(掛合町交流センター（掛合・多根・松笠・波多・入間）防災備品整備）事業 【掛合】簡易間仕切18張、クッションシート36枚（新規整備） 【多根】ダンボールベッド1床、簡易ベッド12床、簡易間仕切2張、クッションシート4枚、ポータブルソーラーパネル1台（追加整備） 【松笠】ダンボールベッド9床、簡易ベッド3床、簡易間仕切9張、クッションシート18枚（新規整備） 【波多】ダンボールベッド9床、簡易ベッド3床、簡易間仕切9張、クッションシート18枚（新規整備） 【入間】簡易間仕切2張、衝立2枚、案内板2枚（新規整備） 計 158点	

交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	令和３年度目標【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】 政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち 施策16 消防・防災対策の推進 防災意識の向上と実践、防災施設の整備 施策目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 現状 31.2％（令和2年度実績） 目標 34.0％（令和3年度）		
事業開始年度	令和３年度	事業終了（予定）年度	令和３年度
事業期間の設定理由			

交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和 4 年度		
	災害に対する 家庭内での備 えをしている 市民の割合 34.0%	市民アンケート において 「災害に対す る家庭内での 備え」につい ての項目に、 していると答 えた数／市民 アンケート回 答者数	成果実績	%			
			目標値	%	34		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和 3 年度		
	掛合町交流センター（掛合・ 多根・松笠・波多・入間）へ の防災備品整備数		活動実績	点	158		
			活動見込	点	158		
			達成度	%	100		

交付金事業の総事業費等		令和3年度			備 考
総事業費		1,179,860			
交付金充当額		1,179,860			
うち文部科学省分					
うち経済産業省分		1,179,860			
交付金事業の契約の概要					
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額
補助金交付		補助	掛合町地域自主組織連絡会議（雲南市）		1,179,860
		計			1,179,860
交付金事業の担当課室		雲南市掛合総合センター自治振興課			
交付金事業の評価課室		雲南市掛合総合センター自治振興課			

別紙

I．事業評価総括表（令和３年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	バス停留所標識柱設置事業	雲南市	814,000	814,000	総事業費 814,000

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和３年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	バス停留所標識柱設置事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市		
交付金事業実施場所		雲南市木次町西日登 外20か所		
交付金事業の概要		雲南市民バスは、現在30路線、161便／1日運行しており、バス停留所が市内全域に約450箇所に設置されています。このバス停留所に設置している標識柱は、バスの乗降場所、時刻及び行き先等を掲示し利用者に示すものであるため、利用する上で必須です。しかし、経年劣化による老朽化により、朽ち果てている箇所や倒壊等設置箇所の安全確保が問題となります。 このことから、老朽化したバス停留所標識柱について21基の更新を実施します。		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第2次雲南市総合計画（平成27年度～令和6年度）※後期基本計画 令和2年度～令和6年度 政策：Ⅱ安全・安心で快適なまち《定住環境》 施策：13公共交通ネットワークの充実 ・まちづくりと連携した持続可能な公共交通体系を構築し、公共交通機関の利用促進を図ります。 ・既存の交通網の整備を図るとともに、多様な交通手段の提供により、利用者の利便性を確保します。 施策目標 市内の公共交通サービス機関（バス・JR・だんだんタクシー・デマンド型乗合バス）に満足している市民の割合 現状 51.7％（令和2年度） 目標 57.0％（令和3年度）		
事業開始年度		令和3年度	事業終了（予定）年度	令和3年度
事業期間の設定理由				

交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度		
	市内の公共交通サービス機 関（バス・J R・だんだ んタクシー・デ マンド型乗合 バス）に満足 している市民 の割合 57.0%	市民アンケ ートにおいて 「市民の公共 交通サービス に満足してい る」項目に満 足、多少満足 と答えた数／ 市民アンケ ート回答者数	成果実績	%			
			目標値	%	57.0		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度の市民アンケート結果を事務事業評価に反映して事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	市民バス標識柱の更新数		活動実績	基	16	40	21
			活動見込	基	16	40	21
			達成度	%	100	100	100

交付金事業の総事業費等		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	備 考
	総事業費	649, 000	1, 540, 000	814, 000	
	交付金充当額	649, 000	1, 540, 000	814, 000	
	うち文部科学省分				
	うち経済産業省分	649, 000	1, 540, 000	814, 000	
交付金事業の契約の概要					
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
	バス停留所の標識の製作及び設置	一般競争入札	有限会社サンユウ工芸（雲南市）	814, 000	
	計				
交付金事業の担当課室		雲南市役所 政策企画部 うんなん暮らし推進課			
交付金事業の評価課室		雲南市役所 政策企画部 地域振興課			

別紙

I．事業評価総括表（令和３年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	大仁農道舗装改修工事	奥出雲町	4,473,000	4,473,000	総事業費 7,480,000

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和３年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	大仁農道舗装改修工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		奥出雲町		
交付金事業実施場所		奥出雲町亀嵩		
交付金事業の概要		昭和47年より島根県において着手、昭和61年に完成、平成３年に本町に譲与された大仁農道は、仁多地域と横田地域を縦断する道路であり、また県庁所在地である松江市への最短ルートでもあるため、生活道路としての利用も多い道路ですが、経年による舗装の劣化が著しい箇所があり、通行車両への影響が発生しているなど、交通に支障をきたしている状況です。 このため、舗装劣化が著しい箇所の舗装整備が必要なため、本交付金を活用し舗装整備を行います。 （令和３年度施工内容） 施工延長 L=180m、 舗装打換え工 A=1,170m²		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第２次奥出雲町総合計画（2021年度-2030年度） 第３章 基本計画 基本目標 ７－２ 生活基盤・交通基盤の整備 安全で快適な暮らしを支える上下水道・道路が適切に整備・維持管理されるとともに、地域特性に応じた公共交通などの移動手段が確保されたまち 奥出雲町国土強靱化地域計画（令和２年６月） ６．起きてはならない最悪の事態ごとの推進方針 （１）大規模自然災害が発生したときでも人命の保護が最大限図られる １）建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生 ③交通施設の安全化、防災空間の確保、道路寸断への対応 災害時の避難路及び緊急輸送道路へアクセスする道として、町道、農道、集落道、林道の整備を着実に進める。		
事業開始年度		令和３年度	事業終了（予定）年度	令和３年度
事業期間の設定理由				

交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和 3 年度		
	大仁農道における、安全で 快適に通行で きる実延長と 大仁農道総延 長の割合 78.5%	(路面にひび 割れ等がなく 安全で快適に 通行できる実 延長) ÷ (総 延長) ×100	成果実績	%	79.9		
			目標値	%	78.5		
			達成度	%	101.8		
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度末期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	舗装改修の延長		活動実績	m	220	200	180
			活動見込	m	210	200	180
			達成度	%	104.8	100.0	100.0
交付金事業の総事業費等	令和元年		令和2年度		令和3年度		備 考
総事業費	7,999,200		7,323,800		7,480,000		
交付金充当額	4,400,000		4,435,000		4,473,000		
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	4,400,000		4,435,000		4,473,000		

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
道路舗装改修工事	指名競争入札	雲南建設株式会社（雲南市）	7,480,000
計			7,480,000
交付金事業の担当課室	奥出雲町農林土木課		
交付金事業の評価課室	奥出雲町農林土木課		

別紙

I．事業評価総括表（令和３年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	町道頓原長谷線舗装修繕工 事	飯南町	4,456,000	4,456,000	総事業費 4,730,000

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和３年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道頓原長谷線舗装修繕工事
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		飯南町
交付金事業実施場所	飯南町長谷	
交付金事業の概要	町道頓原長谷線は、来島ダム施設の上流部に位置し、周辺集落の人々にとって集落と集落を繋いだり、通勤、バスでの通学、役場、病院、買い物をするためなどに使ったりする大切な生活道になっております。しかし、幅員3.6～20.5mの町道で、町道認定から30年以上経過しておりますが、長年、舗装修繕歴はありません。そのため、アスファルト舗装の老朽化が著しく、クラック及び表層の局部的剥離が恒常的に繰り返しているため、走行中の車の振動や舗装の表層に注意が向き通行に支障をきたしております。その上、外側線也没有ありません。 そのため、特に高齢ドライバーには運転しづらい路線状況となっております。 上記のように、長期的に修繕が必要な状況にあるため、平成30年度～令和4年度まで修繕を予定しており、住民の要望を聞きながら、必要な箇所を修繕しています。 令和4年度までに舗装改善を目指し、今後も継続して地域住民のための生活が豊かになるように努めていきます。周知の方法は看板設置や広報誌での掲載を考えております。 令和3年度実施内容： 修繕必要箇所2,000mのうち、315m部分の舗装工(オーバーレイ工)A=1454.75㎡ 区画線工(実線L=630.0m)	

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	交付金事業に関する主要政策 第2次飯南町総合振興計画後期基本計画（令和2年度～令和6年度） 基本施策5－2：生活基盤の整備 施策82：生活道の整備と安全確保 道路橋梁長寿命化修繕計画などに基づき、生活の基盤となる道路網を計画的に整備し、危険個所の点検を行い、改良に取り組みます。					
事業開始年度	令和３年度		事業終了（予定）年度		令和３年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和３年度	
	町道頓原長谷線における安全に通行できる道路の割合 94%	町道頓原長谷線における舗装修繕により安全に通行できる延長/町道頓原長谷線総延長の割合（%）	成果実績	%	94.0	
			目標値	%	94.0	
			達成度	%	100.0	
	評価年度の設定理由					
	毎年度PDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度末期に評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	－					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和元年度	令和2年度
	町道頓原長谷線の舗装修繕延長		活動実績	m	439.2	412.0
			活動見込	m	439.2	412.0
			達成度	%	100.0	100.0

交付金事業の総事業費等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考
総事業費		6, 288, 840	6, 276, 600	4, 730, 000	令和3年度までの総事業費 23, 778, 680円
交付金充当額		6, 257, 000	6, 256, 000	4, 456, 000	
うち文部科学省分					
うち経済産業省分		6, 257, 000	6, 256, 000	4, 456, 000	
交付金事業の契約の概要					
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額	
町道頓原長谷線舗装修繕工事		指名競争入札	田村工業(有)（飯南町）	4, 730, 000	
計				4, 730, 000	
交付金事業の担当課室		飯南町役場 建設課			
交付金事業の評価課室		飯南町役場 建設課			

別紙

I．事業評価総括表（令和３年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	ゴールデンユートピアおお ち維持運営事業	美郷町	10,626,000	10,626,000	総事業費 13,333,333

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和３年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	ゴールデンユートピアおおち維持運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		美郷町
交付金事業実施場所		美郷町粕渕
交付金事業の概要	ゴールデンユートピアおおちは、平成元年に旧邑智町の第3次長期総合計画の先導開発事業として位置付けられ、平成2年に旧自治省のリーディングプロジェクト事業（長寿社会対策）の採択を受けて平成2年度～平成6年度にかけて健康センター、スポーツセンター、交流センター及び高齢者センター等から構成される町民の健康づくりや健康増進、軽スポーツ、創作活動の場を提供する施設として、総事業費24億円をかけて建設されました。当時の総合計画にもあるようにゴールデンユートピアの建設に当たっては「町民誰もが長寿を喜び合い健康が楽しい暮らしづくり」「町民誰もが資源と技術と知恵を生かした生きがい創造に向けた産業おこし」「町民誰もが世代や地域を超えてふれあい学び合う交流による活力ある町づくり」という3つの基本目標を掲げています。とりわけ、長寿・健康という概念においては、オープン当初から療育音楽健康づくり教室や水中運動教室といった高齢者に特化し、施設利用を生かした今で言う介護予防教室を先駆的に実施しており、平成12年の介護保険制度導入後も引き続き町の介護予防事業として定着しております。平成16年10月に旧邑智町と旧大和村とが合併し美郷町になってからも町の介護予防事業、健康づくり事業の拠点として位置づけられ、旧大和村の方からの参加者も増えていく中で、健康指導や運動指導に携わる職員も資格取得や研修を行いスキルアップを図って来ております。このゴールデンユートピアおおちも平成18年度から指定管理者制度による指定管理を受けて一般財団法人美郷町開発公社が管理運営していますが、開館から20年以上が経過し、施設の老朽化等があり、施設維持にも年々経費が増える中でも、町民にとっては最も関心が高い健康維持・増進を図るためにはなくてはならない施設であり、施設として安全で安定的な運営が求められています。 本交付金は町が所有する上記施設の管理運営について、石見ワイナリー株式会社と指定管理の基本協定書（令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間）に基づき、その管理委託料年額40,000千円の内、令和3年10月から令和4年1月分の管理委託料13,333,333円に本交付金を充当します。 このゴールデンユートピアおおち維持運営事業においては、町の広報誌等で電源立地地域対策交付金が使われていることを周知するとともに、町民の健康志向と生きがいに対する健康増進の拠点施設として今後も利用者の維持・拡大を図ります。	

交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	①交付金事業の成果目標 交付金事業に係る主要政策・施策： 美郷町第2次長期総合計画 後期基本計画（令和3年度～令和7年度） 基本計画Ⅳ 健康 福祉 生涯を通じて健康で安心できるまち Ⅳ-1 保健・医療の充実 「一人ひとりがいきいき、みんなが笑顔でつながる健康な町」を基本理念として、疾病や障がい・加齢などに左右されず健やかで自立した幸せな生活ができる期間、いわゆる「健康寿命」のさらなる延伸や生活の質の向上をめざし、具体的な健康行動をおこす町民が増えることを目指します。				
事業開始年度	令和3年度	事業終了（予定）年度		令和3年度	
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度
	各種教室登録者に対して実施するアンケート調査において、自身の介護予防や健康づくりに役立っていると感じる人の割合 80%	教室の内容が満足と思った参加者／各教室の参加者	成果実績	%	91.1
			目標値	%	80.0
			達成度	%	113.9

	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業終了後早期に評価を実施するため。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	指定管理者の変更に伴い人員不足となり、各教室の開催に遅れが発生したことにより、教室の募集を再開しても参加者が集まらなかったことが要因の一つと考えられます。令和3年度の評価を踏まえて、令和4年度は今年度並みの活動見込みとしながらも、アンケート結果から、参加者からは高評価を得られているので、今後は新規参加者の増員を積極的に行い、活動実績の向上を目指していきます。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	無					
	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	介護予防教室（水中運動教室）の開催回数 1ヶ月16日（週4日開催×4週）×4ヶ月（交付金事業期間）	活動実績	回	59	60	11
		活動見込	回	96	64	64
		達成度	%	61.5	93.8	17.2
交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度		令和3年度	備 考	
総事業費	20,000,000	13,333,333		13,333,333		
交付金充当額	10,877,000	10,223,000		10,626,000		
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	10,877,000	10,223,000		10,626,000		

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
ゴールデンユートピアおおちの 管理運営	随意契約（特命）	石見ワイナリー株式会社 （大田市）	13, 333, 333（4ヶ月分）
計			13, 333, 333
交付金事業の担当課室	美郷町企画財政課		
交付金事業の評価課室	美郷町企画財政課		

別紙

I．事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化措置	ICT/IoTの活用及びビジネス マナー向上へ向けた人材育 成事業	津和野町	4,562,000	4,562,000	総事業費 4,949,274

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ. 事業評価個表(令和3年度)

番号	措置名	交付金事業の名称
1	地域活性化措置	ICT/IoTの活用及びビジネスマナー向上へ向けた人材育成事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		津和野町
交付金事業実施場所	津和野町池村 ほか(津和野町全域)	
交付金事業の概要	町内において、ICT/IoTの活用へ向けた学習環境及びビジネスマナー向上へ向けた学習環境を創出します。現在、本町において、IT分野に関する学習環境の提供ができておらず、IT系企業誘致の際に必要な人材確保が難しい状況にあります。IT分野での就労を希望する生産年齢人口の多くは都市部で就労をせざるを得ず、町の人口減少の一因となっています。 この度の学習環境創出により、多くの方がIT関連について学ぶことで、町内でのIT関連の活用が進むことにより、IT系企業の誘致の際の人材確保に繋がり、更なるIT系企業誘致促進を図ることができ、人口減少の一因でもある就労の場の不足の解消に繋がります。併せて、町内企業において、ITを活用する体制が整備されることにより、業務の効率化が図られ、町内住民への学習環境提供により、ITを活用した「地域の活性化」を図ることができます。 また、ビジネスマナーに関する学習環境創出により、既存企業等の人材育成に資するのみならず、社会一般常識、接遇等社会人コミュニケーション能力に係る学習を受けた人材がいることにより、企業誘致促進を図ることができ、就労の場の確保に繋がります。 ICT/IoTの活用及びビジネスマナー向上の両輪での学習環境創出による人材育成により、地域の方の能力向上、既存企業の業務効率化、IT関連知識・ビジネスマナーの知識を持つ人材がいることによる企業誘致促進が図られます。 講座・セミナーの開催時期については、委託業者決定後に、受講しやすい状況、より効果的な受講の仕方等検討し決定する必要があるため、現段階で未定としています。 具体的な事業内容は以下のとおりです。 ①IT人材の育成及びビジネスマナー向上に関する講座の実施 講座39回実施 Word基礎講座、リモート会議講座、接遇等社会人コミュニケーション能力開発等を学ぶビジネスマナー講座等、企業において、必要なスキルを持つ人材育成講座 ②町内事業者等のIT化促進に向けた相談対応を希望企業等に出向き実施するコンシェルジュ(出張講座) 講座35回実施 ③町内を中心とした企業・個人のICT/IoTへの理解向上、認知拡大に向けたセミナーの開催 2回開催 ④小・中・高連携調査 町内の小学校・中学校・高等学校のプログラミング授業に係る企画・提案等支援を行います。併せて、小学校・中学校・高等学校の発達段階に沿った有効なIT分野の知識を得ることのできる学習環境構築のための調査・企画を行います。	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第2次津和野町総合振興計画((2017年(平成29年)6月) 基本目標3 働くことを喜びとし豊かな産業を育てるまちづくり 第2章商工業 7 企業進出のための環境整備 ●企業が進出しやすいようにハード整備や人材確保、人材育成等の環境整備を進めます。 9 ICTへの理解向上 ●地域内のICTに対する理解と学習を深め、ICTの利活用を推進します。 第4章「雇用対策」 1就業の場の確保 ●企業が求める条件に合う人材の育成、スキルアップを支援します。	

事業開始年度	令和3年度		事業終了(予定)年度			令和3年度			
事業期間の設定理由									
交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和3年度			
	各講座・コンシェル ジュ・セミナーに満足し ている参加者等の割合 80.0%	各講座等終了後に行う 参加者等アンケートにお いて、総合的な満足度 の項目に「満足」又は 「やや満足」と答えた参 加者等数の合計÷アン ケート回答者数	成果実績	%	97.1				
			目標値	%	80.0				
			達成度	%	121.4				
	小・中・高連携調査により、 小・中・高等学校のプログラ ミング授業に係る企画提案 を行い、各学校の効果的な プログラミング授業構築の支 援につなげます。		成果実績						
			目標値						
			達成度						
	評価年度の設定理由								
	事業完了早期に評価を実施するため。								
	交付金事業の定性的な成果及び評価等								
	小・中・高校の教員等に調査を実施し、プログラミング授業に係る課題を把握し、事例紹介やツールの提案、利用方法などの説明 が実施できました。また、小・中・高の接続やプログラミングの取り掛かりとする体験教室開催についての提案をいただくことができ、 外部機関が教育機関等と連携することが効果的であることが実証されたことは大きな成果であると認識しています。								
	評価に係る第三者機関等の活用の有無								
	無								
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度	年度	年度		
	講座、コンシェルジュ及びセミナー実施回数		活動実績	回	76				
			活動見込	回	76				
			達成度	%	100.0				
交付金事業の総事業費等	令和3年度		年度		年度		備考		
総事業費	4,949,274								
交付金充当額	4,562,000								
うち文部科学省分									
うち経済産業省分	4,562,000								

交付金事業の契約の概要			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	講座・セミナー開催、小・中・高連携調査	随意契約(特命)	(株)Nex-E (津和野町)
	計		4,949,274
交付金事業の担当課室	津和野町つわの暮らし推進課		
交付金事業の評価課室	津和野町つわの暮らし推進課		

別紙

I．事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	小学校特別教室空調機整備 事業	吉賀町	4,290,000	4,290,000	総事業費 4,290,000

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表(令和3年度)

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	小学校特別教室空調機整備事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉賀町	
交付金事業実施場所	柿木小学校(吉賀町柿木)、七日市小学校(吉賀町七日市)、朝倉小学校(吉賀町朝倉)、六日市小学校(吉賀町六日市)		
交付金事業の概要	各学校における授業環境については、とりわけ温度調節が重要です。 特に夏季の学校においては、夏季休業前後にも猛暑日を記録する日が年々増加し、適切な授業環境の確保や熱中症対策に苦慮していることから空調機整備が急務です。 本事業では、整備済みである普通教室に加え、特別教室等に空調機を整備することにより、全ての教室における児童・生徒の学習環境及び職員の学習指導環境の改善を図ります。 本年度は、整備に先立ち、実施設計を行います。具体的には現地調査の上、令和4年度以降の工事発注に必要な工事費の積算資料や図面を作成します。 学校はその用途から大きな電力を消費します。本件整備により追加となる需給電力によっては、変圧器を含む受変電設備等を敷地内に設置する必要性が生じる可能性があります。このため、追加機器を含めた全体の電力量を計算の上、既設電気設備の改修や受変電設備設置の検討を併せて行います。 ・実施設計一式(対象4校) ①柿木小学校：理科教室、音楽教室、図工教室、家庭教室、配膳室、保健室 ②七日市小学校:理科室、音楽室、図工室、家庭科室、第2多目的教室 ③朝倉小学校：理科教室、音楽教室、資料室、保健室 ④六日市小学校:理科室、図工室、家庭科室		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	吉賀町教育振興計画(平成28年3月) 基本理念「ふるさとでの学びや体験をもとにした明日の吉賀町を支える人材の育成」 4.学習環境の構築と支援体制の整備 1)学びに適した学習環境の構築 (2)学校配置及び学校施設整備 《具体策》○各教室へのエアコン整備の検討		
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	令和7年度
事業期間の設定理由	令和3年度に実施設計を行い、次年度以降対象4校に順次計画的に整備を行い、令和7年度の供用開始を見込むため。		

